



西の明星



学校教育目標 「優しく 賢く 逞しく」～今が大切～

ふじみ野市立大井西中学校
学校だより 第9号(1月号)
令和8年1月8日 発行
校長 榎本 崇

新年明けましておめでとうございます

冬休みは、ご家族そろって穏やかに過ごされたことだと思います。我が家も久しぶりに家族が勢ぞろいし、また親戚も集まってきたので、賑やかで楽しい正月休みとなりました。



さて、今年はうま年です。馬は走りぬく、力強い、勝利を目指すといった、よい意味でつかわれることが多い動物です。十二支で書くと「午年」です。午年は、全力で最大限の成長を目指し、それを成し遂げる年と言われています。馬は本来、常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は、夢に向かって突き進む人の象徴でもあります。「挑戦」「目標」「飛躍」などポジティブなイメージを重ねることができる年と言えそうです。本校は昨年11月に創立50周年記念式典を挙行しました。皆様に祝福された晴れ晴れしい節目を通過点とし、さらなる未来への挑戦と飛躍の年にしたいものです。

昨年、ノーベル化学賞を受賞した京都大学特別教授・北川進先生は、子供たちに伝えたい言葉として、こう言いました。

「ルイ・パスツールが『幸運は準備された心にのみ宿る』という名言を残しています。私の今の流れをみたときに、いい先生、友達、学会での付き合いに恵まれた。それは準備された心なんです。ある日突然宝くじを引いて当たったわけじゃない。いろんな経験を大切にしていくとそれが将来花開く、そう言いたいですね。」

また、北川先生は、「チャンスは祈るもんじゃなく、自分でつくり上げるもの。」とも言っています。

生徒の皆さんには、新年にあたって明確な目標を持ち、準備を怠らず、うまくいったこととうまくいかなかつたことを行きつ戻りつしながらも、挑戦する心の火を絶やさず、経験を糧として少しづつ自信を積み重ね、大きな飛躍を成し遂げてほしいと願っています。

令和7年度埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール
入選 Y・S

第60回記念郷土を描く児童生徒美術展
入選 I・R
入選 I・Y

1月の行事予定

| | | |
|----|---|---------------------|
| 8 | 木 | 短2 始業式 |
| 9 | 金 | 短3 安全点検 |
| 10 | 土 | |
| 11 | 日 | |
| 12 | 月 | 成人の日 |
| 13 | 火 | 45分日課 給食開始 二者面談 |
| 14 | 水 | 45分日課 二者面談 |
| 15 | 木 | 45分日課 二者面談 |
| 16 | 金 | 45分日課 二者面談 |
| 17 | 土 | |
| 18 | 日 | |
| 19 | 月 | |
| 20 | 火 | 45分日課 二者面談 |
| 21 | 水 | 3年6校時カット |
| 22 | 木 | 私立入試中心日 |
| 23 | 金 | 私立入試中心日 |
| 24 | 土 | 私立入試中心日 |
| 25 | 日 | |
| 26 | 月 | |
| 27 | 火 | 3年生性教育講演会 |
| 28 | 水 | 短4 45分日課 小中連携協議会 |
| 29 | 木 | 委員会の日 |
| 30 | 金 | 避難訓練 |
| 31 | 土 | |

【1月の生活目標】

○新年の決意や抱負をもって、行動に移そう。

おしらせ

ホームページが新しくなります

ホームページのリニューアルに向けて、現在準備中です。2月頃より稼働予定です。URLも変更になりますので、ご注意ください。詳細は、後日メール配信でお知らせします。

【ご報告】学年担任制の試行について

11月に学校課題研究の一環として、学年担任制の試行を実施しました。今回は、1年生が4週間、2・3年生が3週間の期間を設け、1週間ごとに担任が交代する形式でした。学年担任制のねらい及び期待される効果は、学校だより8・9月号でお伝えしましたが、参考までに再掲します。また、施行後に生徒アンケートを実施しましたので、結果も併せてご覧ください。今回の研究結果をもとに、次年度以降の取り組みについて校内で精査してまいります。

①学年担任制のねらい

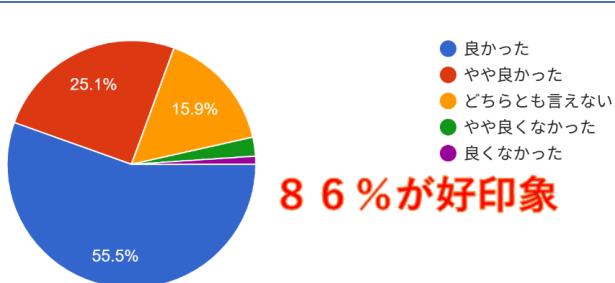
- ・より多くの目で生徒理解できるようにする。
- ・生徒の主体性を育てるようにする。
- ・指導の統一を図れるようにする。

②学年担任制による効果

- ・複数の教員で学年全体を担任することにより、生徒の安心感、いじめ問題の早期発見・早期対応につながる。
- ・複数の教員がそれぞれの視点から生徒を見ることで、より多角的に生徒理解でき、きめ細やかな対応につながる。
- ・生徒間でトラブルがあっても、学年で対応し、より適切な指導が可能となる。

生徒アンケートの結果

Q1 担任の先生が週ごとに変わるのはよかったです。



【よかったです等の意見】

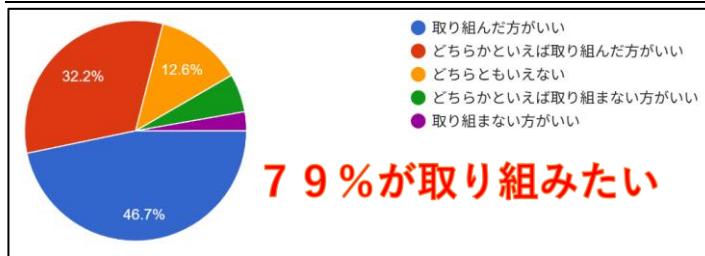
- ◎楽しかった。わくわくした。新鮮だった。
- ◎先生のことをもっと知れたことがとてもうれしかったから。
- ◎いろいろな先生の考え方などを知り自分の成長や学びにつながったから。
- ◎新たな課題を見つけてもらえたから。
- ◎他の先生の考え方や大事にしていることを知ることができた。

◎いろいろな考えを持った先生と関わることで、新しい視点から物事が見えたと感じたから。

【心配等の意見】

- ▲もともとの担任の先生のほうが人間関係ができていた。
- ▲相談事とか話せない
- ▲一年間変わらず絆を育んでいくほうが好き。
- ▲先生によってクラスの態度がかわるのはよくない。
- ▲朝の会や帰りの会のやり方が違うなど大変な部分もあった。

Q2 今後も学年担任制に取り組んだ方がいいですか。



【取り組みたい等の意見】

- ◎いろいろな先生たちと交流することができる。
- ◎メリハリのつきかたや行動の仕方が変わる。
- ◎いろんな先生との交流を深めていけばクラスの団結が学年の団結になってしまったりする。
- ◎新しい環境に慣れたり先生とのコミュニケーションにもつながる。

◎学年全体の先生で、「この子はこんな子なんだな」と理解してくれそう。

◎頻繁に、じゃなければこれからも続ける価値はある。

【心配等の意見】

- ▲担任がいないと相談とかをしづらい。
- ▲受験の時に不便。
- ▲先生とより深い信頼関係を築きにくくなってしまいそう。
- ▲クラスのモチベーションが上がりにくく、団結力が下がると感じた。
- ▲『せっかくA先生に慣れてきたのに もうB先生になった』みたいなこと もありそうだ。
- ▲やるなら今年みたいにちょっとの期間がいい。